

平成 30 年度 全国学力・学習状況調査

【ひだかプラン】～解答に課題の見られた問題について～

小学校
国語編

国語 A 5 書いた文章を読み直す (春休みの出来事)

5

大山さんは、春休みの出来事について文章を書いたあと、読み返して、……部と——部とのつながりが合っていない文があることに気づきました。次の「春休みの出来事の一部」をよく読んで、あとの(問い)に答えましょう。

【春休みの出来事の一部】文のはじめにある数字は、その文の番号を示しています。

①ぼくは、校庭で野球の練習を毎日がんばりました。その努力は見事に実りました。②ぼくたちのチームは、地区大会で優勝したのです。③今年の春休みは、とてもじゆう実したものでした。でも、反省していることもあります。④反省点は、用具の手入れをあまりしませんでした。これからは、練習だけではなく、用具の手入れもしっかりがんばりたいと思います。

(問い) ……部と——部とのつながりが合っていない文の番号を、①から④までの中から一つ選んで書きましょう。また、……部はそのままにして、文の意味が変わらないように、選んだ文を正しく書き直しましょう。

※解答は、解答用紙に書きましょう。

選んだ文の番号……

書き直した一文

1 出題の趣旨

文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書くことができるかどうかをみる。

春休みの出来事について書いた文章を、それぞれの文の中での語句の役割や、語句相互の関係に気を付けて読み返す場面を設定しています。「反省点は」と「用具の手入れをあまりしませんでした」とが照応していないことに気づき、文の意味を明確に伝えるために、正しく書き直すことを求めています。

2 学習指導要領における領域・内容

〔第3学年及び第4学年〕

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

(1) イ 言葉の特徴やきまりに関する事項

(キ) 修飾と被修飾との関係など、文の構成について初歩的な理解をもつこと。

平成27年度全国学力・学習状況調査小学校国語A〔2〕一)において、文の主語として適切なものを選択する問題が出題されています。(全国正答率 53.4%)



第1学年～第6学年において系統性のある学習指導が大切です。

【第1学年・第2学年】
主語と述語とが照応していない文を提示し、述語との関係を考えながら主語を補ったり、置き換えたりするなど、主語と述語を照応させる。

【第3学年・第4学年】
主述が整った複数の文を提示し、述語を、物の名前を表す語句(「何だ」)や動きを表す語句(「どうした」)、様子を表す語句(「どんなだ」)の三つに類別させる。

【第5学年・第6学年】
文の中での語句の係り方や照応の仕方に気づき、いろいろな文の構成があることについて理解することができるようにする。

系統性のある学習指導の一例です。当該児童について、下学年において、どのような学習指導が行われたのかを十分に把握し、学びの連続性を意識させることが大切です。



【文の中における主語と述語との関係を理解するために】

<学習指導例>

- 例文の中から主語と述語とを区別して取り出し、主語は「何は(が)」「誰は(が)」などという言葉があてはまること、述語は、動き(「どうした」)や様子(「どんなだ」)、性質(「何だ」)を表す言葉であることを指導する。

◆こんな工夫が考えられます◆

区別したことが視覚的に捉えやすいカードやワークシートを活用する。

グループやペアで理由を添えて説明し合う場を設ける。



国語 B 2 献立を推薦する文章を書く (「かみかみあえ」)

【保健室の先生の話から分かったこと】

食べ物をよくかむと、

- 口のまわりのきんにくを動かすことになり、のうの働きが活発になる。
- だ液がたくさん出て、口の中をきれいに保つので、むし歯になりにくい。
- まんぷく感が得られ、食べ過ぎにならない。
- 食べ物本来の味が分かるので、うす味の食事に慣れる。
- だ液の量が増え、消化がよくなる。

おいくつ、みんなに人気があり、昔の健康を保つことにもつながる「かみかみあえ」をぜひ、おうちのメニューの一つに加えてください。

「かみかみあえ」は、するめが入っているあえ物です。よくかんで食べることから、このよな名前がついています。おうちの人の、「かみかみあえ」を、サラダやあえ物のメニューとしておすすすめします。

するめのはかにも、にんじんやきゅうり、もやしなどの野菜が入っていて、栄養のバランスやいり、たまらないおいしさです。

特におすすすめしたい理由は、次の二つです。

一つ目の理由は「かみかみあえ」が、人気のこんだてであることです。

六年一組以前行ったアンケートでは、サラダやあえ物のうち、好きにこんだての上位三つに入っていました。六年一組では「ツナマヨサラダ」と同じくらい人気があるこんだてです。まへど、ほかの学級でも好きな人が多いと思います。

二つ目の理由は、「かみかみあえ」にむし歯を防ぐ効果があることです。

同じサラダやあえ物の中で人気のこんだての一つである「ツナマヨサラダ」と比べると、「かみかみあえ」の方が、よりむし歯を防ぐ効果があります。「かみかみあえ」は

かみかみあえ



【紹介する文章】

「かみかみあえ」は、するめが入っていて、よくかんで食べるこんだてです。そのため、このような名前がついています。

するめのはかにも、にんじんやきゅうり、もやしなどの野菜が入っていて、栄養のバランスやいりも考えられています。

中華風ドレッシングの味やするめのうまみが野菜にしみこんでいます。

2

星野さんは、給食の献立の一つである「かみかみあえ」のよさをもっと知ってもらい、各家庭でもメニューの一つに加えてほしいと思っています。次は、星野さんが以前書いた「かみかみあえ」についての【紹介する文章】で、それをもとにしておうちの人のに向けて書いて【おすすすめする文章】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

設問二 星野さんは、「かみかみあえ」のむし歯を防ぐ効果に着目して【おすすすめする文章】の [] を書くことにしました。そこで以前メモしていた【保健室の先生の話から分かったこと】を取り入れてくわしく書こうとしています。 [] に入る内容を、あとの条件に合わせて書きましょう。

- <条件>
- 【紹介する文章】と【保健室の先生の話から分かったこと】から言葉や文を取り上げて書くこと。
 - 【おすすすめする文章】にふさわしい言葉を用いて書くこと。
 - 書き出しの言葉に続けて、50字以上、80字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉を字数にふくむ。

1 出題の趣旨

目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くことができるかどうかをみる。

給食の献立を取り上げ、各家庭でメニューの一つに加えてもらうために、推薦する文章を書く場面や目的や意図に応じて、内容を詳しく書く場面を設定しています。推薦する理由として、【紹介する文章】と【保健室の先生の話から分かったこと】から適切な内容を取り上げて、相手に伝わるように詳しく書くことを求めています。

2 学習指導要領における領域・内容

- [第5学年及び第6学年]
- B 書くこと
- ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

平成29年度全国学力・学習状況調査小学校国語B(2)三)において、目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書くことができるかどうかをみる問題が出題されています。(全国正答率33.2%)

子どもたちが、読み手に自分の考えが伝わるような文章を書くためには、目的や意図に応じ、取材した情報から必要な内容を整理する学習指導が大切です。

【自分の考えを明確に伝える児童の育成を目指して】



- <学習指導例>
- 取材等を通じて収集した事柄を整理し、情報と情報との共通点や相違点に着目してまとめたり、見出しを付けたりするよう指導する。
 - まとめて見出しを付けた事例を基に、理由を取り上げて簡単に書くことができるよう指導する。

- ◆こんな工夫が考えられます◆
- 🔑 新聞やリーフレットなど文章の種類や特徴を踏まえ、簡単に書くこと、詳しく書くことについて、目的や意図に応じて、どちらが読み手に分かりやすく伝えることができるかを判断させる。
 - 🔑 このような学習活動を、国語科のみならず、各教科等においても、意図的、計画的に設定する。